

# U.S. Indicators

発表日: 2024年6月21日(金)

## 米国 需要の加速もインフレ圧力は小幅緩和(6月PMI)

～4-6月期の民間需要はサービス主導で加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

24年6月のS&Pグローバル米国総合購買担当者指数(PMI)は、54.6(前月54.5)と前月比0.1%ポイント上昇し、市場予想の53.5(筆者予想54.2)への低下に反して上昇した。6月総合PMIは、拡大縮小の分岐点である50を17カ月連続で上回ったうえ、前月から上昇しており、同統計調査対象企業の活動や民間需要の拡大ペースの加速を示した。

製造業は、51.7(前月51.3)と前月比0.4%ポイント上昇し、拡大ペースの加速を示した。また、サービス業は、55.1(前月54.8)と前月比0.3%ポイント上昇し、速いペースでの拡大を示した。内外での人の移動の活発化による需要の強まりを背景に17カ月連続で拡大縮小の分岐点である50を上回ったうえ、足元で米民間サービス業の活動が活発化したことが示された。

総合新規受注は、53.4(前月51.7)と上昇し、需要の拡大ペースが加速したことを示した。製造業が51.1(前月50.3)と上昇したほか、サービス業が53.8(51.9)と大幅に上昇し、全体を押し上げた。また、総合雇用は51.7(前月49.9)と上昇し、雇用が拡大に転じたことを示した。製造業が53.5(前月52.7)と上昇したほか、サービス業が51.4(前月49.4)と拡大を示す水準に上昇した。

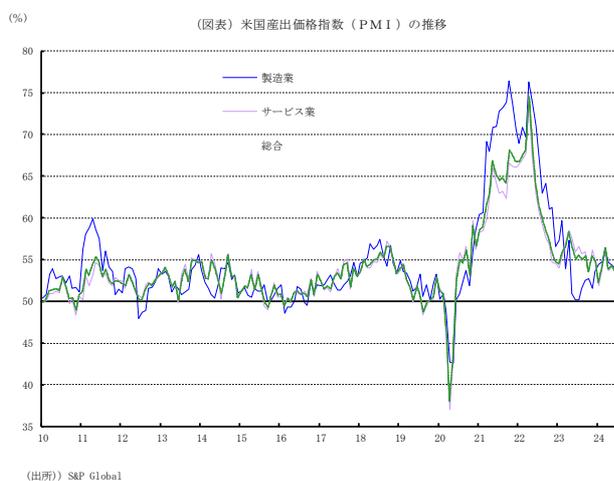
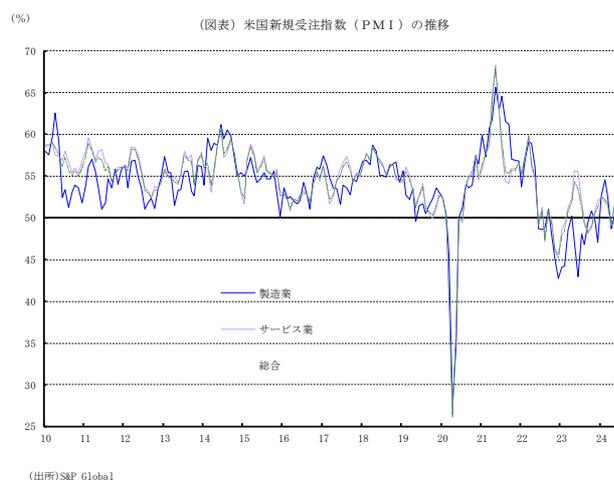
インフレ関連では、総合投入価格指数が56.6(前月57.2)、総合産出価格指数が53.5(前月54.3)とともに低下し、インフレ圧力の若干の緩和が示された。製造業では、投入価格指数が56.6(前月58.1)と低下したうえ、産出価格指数が54.0(前月54.3)と低下し、財価格の上昇ペース鈍化を示した。サービス業では、投入価格指数が56.6(前月57.1)、産出価格指数が53.4(前月54.3)とともに低下する形で、サービス価格の上昇ペース鈍化を示唆した。

製造業では、生産が51.9(前月53.0)と低下したものの、新規受注が51.1(前月50.3)、在庫が50.8(前月49.1)、雇用が53.5(前月52.7)と上昇した。寄与度では、生産が前月比▲0.26%ポイントの押し下げ寄与となった一方、新規受注が前月比+0.23%ポイント、在庫が前月比+0.17%ポイント、雇用が前月比+0.14%ポイント、入荷遅延が前月比+0.08%ポイントの押し上げ寄与となった。

サービス業では、活動指数が55.1(前月54.8)と上昇し、事業活動がより活発化したことを示した。また、新規受注が53.8(前月51.9)と上昇、需要の拡大ペース加速を示した。さらに、「将来の活動指数」が68.5(前月66.8)と高い水準に上昇しており、サービス関連企業は先行きに対して楽観的な見方を維持し続けている。

24年4-6月期の総合PMIは、53.5と1-3月期の52.2から上昇し、4-6月期の米民間需要の拡大ペースの加速を示している。製造業が51.0(1-3月期51.6)と小幅低下した一方、サービス業が53.7(1-3月期52.2)と上昇しており、サービス需要がけん引役となっている。





本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。